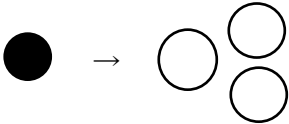
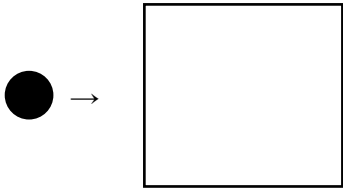
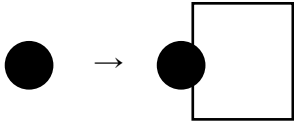


自作教具の活用事例

【作品名】 もっと上手に！ボッチャ上達セット	【学校名】 日立市立仲町小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 小藺江 徹朗
【制作の意図】 ボッチャの練習しながら集団での活動での、ルールを守る、互いに称賛したり励まし合ったりする、望ましくない感情をがまんするなどの能力を育てる。体を使いながら、力を加減する、ねらい通りにボールを扱うなどの巧みな動きを高める。	【使用方法】 「的に当てる」は、ペットボトルを並べ、ボールを転がして倒す。「枠に入れる」は、画用紙やラシヤ紙を枠にし、軽く投げたり転がしたりして枠の中で止まるようにする。「当てて押す」は、1球目は箱の前に止まるように転がし、2球目は1球目に当てて、1球目が箱に入るようにする。
【制作上の工夫】 的に当てる運動を楽しく行うために、当たったときに動きや音を軽快に感じるようにペットボトルを利用した。枠に入れるではいろいろな大きさの枠を作り、小さい枠に入ると得点が大きくなるようにした。当てて押すでは、押し入れる箱の入れ口に押されるボールを置く的を付けた。	【見取り図】 ・的に当てる  ・枠に入れる  ・当てて押す 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ・ボールを転がすなどの簡単な動きなので、児童が無理なく楽しく取り組むことができる。 ・自分のテンポで取り組めるので、励ましたり称賛したりすることができる。励ましや称賛の友達の声がよく聞こえる。 ・発展として、ボッチャのルールに従ってチーム戦をする。
【材料・材質・部品等】 ・ペットボトル ・ダンボール箱 ・画用紙、ラシヤ紙	